

高校生1日医師体験と職場体験

手技練習企画

耳原総合病院では、高校生1日医師体験の受け入れを行っています。医学部をめざす高校生に医療の現場に触れてもらう機会になります。

1日医師体験では、主に医療現場のバックヤードを見学してもらいます。病理診断科で、医師と一緒に実際のプレパラートを観察します。他に検査科・放射線科・食養科・透視センターも見学します。参加者からは「医師体験をしてさらに医師になりたいと思いました。これから勉強を頑張っていきたい」「医師になる決



きれいに縫合できるかな



糸結びの反復練習

心がついて覚悟が固まった」といった感想が語られています。また三国丘高校、大手前高校、清教学園高校の職場体験も受け入れています。研修医から講演を聞き、実技体験も行っています。講演では医師という仕事の意味や、患者さ

実際にプレパラートを見てみます



実際にプレパラートを見てみます

引続き高校生・予備校生向けに、医師の仕事の一端を見て感じてもらう、医学部合格を応援していただけるいな、と喜んでいきます。平日ならいつでも受け入れていただけますので、テスト終りの平日の休み、大型連休などを使って申し込んでください。(医局事務課 大川尚輝)

「医師になる決心がついた」 「外科の体験ができて モチベーションがあがった」



細胞の説明をする木野医師

「お金がないから…」 と受診をあきらめて いませんか？

同仁会では「無料低額診療」を実施しています。

医療費でお困りの方は
各事業所窓口
お問い合わせ
ください。



耳原鍼灸院 移転リニューアルオープン



受付時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	●	●	●	●	●	●
午後 13:30~15:30	●	●	●	—	●	●
15:30~17:00	訪問鍼灸				訪問鍼灸	
夜間 17:00~19:30	—	●	—	—	—	—

60年のあゆみ

耳原実費診療所創立60周年記念誌

いのち輝け未来へ

その9

第4章 厳しい環境下で実力が試された

1982年～1997年

(前号のつぎ)

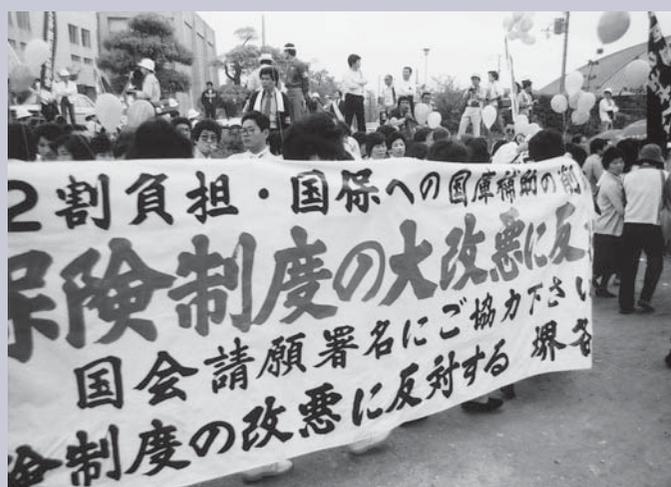
第2臨時行政調査会(第2臨調)が発足(81年3月)し、国民生活のあらゆる分野で、とくに医療に対しては、「医療費亡国論」を掲げるなど、国が医療に支出するお金を徹底して減らせることに焦点をあて、多面的な低医療費政策が80年代の幕開けとともに執拗にすすめられました。

老人医療費有料化復活(82年8月、外来400円、入院300円)、はじめての診療報酬実質引き下げ(84年4月)、健康保険本人に1割負担の導入(84年10月)、国民健康保険への国の補助率の引き下げ(84年10月、45%から38・5%へ)、医師数の抑制(82年閣議決定、

「地域医療計画」の名による病院ベッドの規制と抑制(85年「医療法」改悪)、国立病院の廃止、民間移譲すすめる、老人保健法改悪(87年1月、外来800円、入院500円)、国保法改悪(87年1月、国保料未納者にペナルティー)、90年代にも引き継がれます。長寿社会を意図のではなく、国が医療にお金をだすことや、医療費が増えていくことが悪いことであるかのように描かれ、国民からは高くとり、医療機関には低く支払うあらゆる方法が講じられました。

この時期、同仁会は、「第二次5カ年計画」(77年から81年度)に基づいて総合病院の機能の一部を外に出したり施設の拡充を中心に、短期間に計画を遂行してまいりました。

調剤薬局の開設(78年6月)、「耳原総合病院付属老松診療所」という名称で人工透析部門をになう診療所として開設(79年5月、あわせて同仁会会館建設)。泉州看護学校の校舎移転(79年8月)、総合病院別館の新築(80年5月)、旭ヶ丘会館の建設と鍼灸、歯科診療所開設(81年9月)、耳原鳳病院の移転新築(耳原八病院から81年11月)などをすすめていきました。



堺地区メーデーで保険制度改悪反対を訴える(1984年)

※発行当時の原文のまま掲載しています。